

小学校第5学年音楽科学習指導案

日時 平成24年7月19日(木)

指導者 5年担任 教諭 杉 聖也

1 題材名 アンサンブルの魅力

2 題材について

(1) ねらいについて

本題材は、学習指導要領第5学年および第6学年の目標(2)「基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。」を受け、2 内容「A 表現」(2)における「器楽の活動を通して、次の事項を指導する。」での「ア 範奏を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏すること」「イ 曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること」「ウ 楽器の特徴を生かして旋律楽器及び打楽器を演奏すること」「エ 各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること」に関わるものである。

本題材「アンサンブルの魅力」は、声や楽器の音色を捉えて、音の重なりや響きを味わいながら鑑賞したり表現に生かしたりすることをねらいとしている。本時で取り上げる合奏曲「星笛」は、8分の6拍子の拍の流れを感じながら、曲の仕組みを理解して表現豊かに演奏する題材である。主な旋律や全体の響きなどを聴きながら拍の流れに乗り、自分の音や友達の音を調和させて合奏することで、児童は音の重なりや響きを感じながら表現活動に取り組むことができると考える。

(2) 本題材の系統について

	第4学年	第5学年	第6学年
題材名	アンサンブルの楽しさ	アンサンブルのみりよく	演奏のみりよく
教材名	アラ ホーンパイプ	・いろいろな合唱 ・ハローシャイニングブルー ・組曲「カレリア」 ・星笛	・交響曲第5番「運命」第1楽章から ・合唱「かたりあおう」
共通事項	音色／問いと答え ／音の重なり	音色／音の重なり や和声の響き／音楽の縦と横の関係 ／旋律／反復・変化 ／拍の流れ／フレーズ／問いと答え	速度／強弱／旋律 ／反復・変化／フレーズ

(3) 児童の実態について

※ 省略

(4) 指導にあたって

- 導入にあたっては、星空の画像を提示しながら範奏を聴かせることで、イメージ豊かな演奏への意欲付けとする。
- 8分の6拍子に合わせて演奏させるために、拍を意識させながら演奏できるようにメトロノームなどの機器を活用する。
- 自分の音や友達のをしっかりと聞き取らせることで、音の重なりや響きを感じながら演奏できるようにする。

ICT活用のポイント

①児童の活用

- ・ 8分の6拍子を指導する際に、予め撮影しておいた模範指揮の動画を提示することで、視覚的に分かりやすく腕のふりを理解させる。

②児童の活用

- ・ リコーダーと伴奏の掛け合いを意識して演奏させるために IC レコーダーで互いに演奏を録音させ、客観的に自己評価できるようにする。

3 題材の目標

- ・ 声の種類を知り、さまざまな形態による合唱の響きの特徴を感じ取って聴く。
- ・ 歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫して合唱を楽しむ。
- ・ 楽器の音色を捉え、音の重なりや響きを味わいながら、表現したり鑑賞したりする。

4 題材の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
アンサンブルに興味関心を持ち、歌唱や器楽、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。	楽曲の仕組みを理解し、歌詞や曲想を生かした表現を工夫しながら、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いをもっている。	主な旋律や副次的な旋律、全体の響き、伴奏を聴きながら、拍の流れにのり、自分の声や音と調和させて合唱や合奏をしている。	合唱やオーケストラの響きを聴き取り、そのよさや美しさを感じ取りながら、楽曲全体にわたる曲想と、その変化などの特徴に気づいて聞いている。

5 指導計画及び評価基準（7時間取り扱い）

時	学習活動	指導上の留意点	関	創	技	鑑	評価基準・評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> 声の種類や合唱形態を理解する。 力強い男声四部合唱の響きを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な楽器を例に挙げ、声の種類を説明する。 楽曲全体の曲想を味わうようにする。 	○			○	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな合唱の響きを感じながら、主体的に取り組もうとしている。 人の声の良さや美しさを感じ取って聴いている 【観察・発言・記述】
2	<ul style="list-style-type: none"> 混声合唱と児童合唱を聴き比べてそれぞれの音色を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲を聴き比べさせることで声や構成の違いに気づかせる。 	○			○	<ul style="list-style-type: none"> 範唱を聴き、同じように歌おうと主体的に取り組もうとしている。 どのように歌うかについて自分の意図を持って歌っている。 【観察・聴取】
3	<ul style="list-style-type: none"> 「ハローシャイニングブルー」の歌唱を聴いて、楽曲の感じをつかむ。 歌詞を理解してで響きのある声で歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 海や空をイメージさせながら発声に気を付けて歌うことができるようにする。 	○	○			<ul style="list-style-type: none"> 友達の歌声に耳を傾け、自然で無理のない響きのあたる歌声で歌っている。 【観察・聴取】
4	<ul style="list-style-type: none"> 「ハローシャイニングブルー」の声の響きや音楽の表現の工夫をして合唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> メトロノームに合わせて自分のパートリズムを調整させる。 			○		<ul style="list-style-type: none"> 楽器の音色や特徴を聴き分けたり、旋律の反復や変化を聴き取りし楽曲の構造を理解している。 【観察・記述】
5	<ul style="list-style-type: none"> 「組曲『カレリア』から『行進曲風に』」を鑑賞する。 楽曲の構造について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真集や伝記の本、インターネットなどを活用して生い立ちを調べさせる。 				○	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーと伴奏の掛け合いや重なりを聴きながら、主体的に演奏しようとしている。 【観察・聴取】
6 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 「星笛」の楽曲の感じをつかむ。 拍の流れに乗り、旋律のまとまりを感じ取って主旋律と副次的旋律をリコーダーで演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指揮の例を視覚的に分かりやすく提示する。 リコーダーと伴奏の掛け合いを演奏意識して演奏させる。 	○				<ul style="list-style-type: none"> どのように演奏するかについて自分の考えや願いを持っている。 8分の6拍子のリズムに合わせて、や音の響き合いやかフレーズを生かして演奏している。 【観察・聴取】
7	<ul style="list-style-type: none"> 掛け合いや重なりを感じながら、主旋律と副次的旋律を合わせで演奏する。 ペアやグループで楽曲の特徴や曲想を生かした表現の工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 役割分担してと演奏させることや問いと答えの感じをつかませる。 		○	○		<ul style="list-style-type: none"> どのように演奏するかについて自分の考えや願いを持っている。 8分の6拍子のリズムに合わせて、や音の響き合いやかフレーズを生かして演奏している。 【観察・聴取】

6 本時の展開

(1) 目標 リコーダーと伴奏の掛け合いや重なりを聴きながら、主体的に演奏しようとしている。

(2) 展開

過程	学習活動、主な反応 (T) 予想される児童の反応 (C)	指導上の留意点・評価	備考 ICT活用
導入 8分	1 「星笛」の範奏を聴き、楽曲の感じをつかむ。 (T)画面を見ながら「星空」の演奏を聴きましょう。 2 本日のめあてを確認する。 (T)今日のめあてを確認しましょう。	・星空の画像を提示しながら範奏を聴かせ、イメージ豊かな演奏への意欲付けとする。	電子黒板
	めあて リコーダーと伴奏の掛け合いや重なりを感じて「星笛」を演奏しよう。 (C)きれいな響きで演奏したいな。		
展開 32分	3 8分の6拍子のやり方を知り、練習に取り組む。 (T)この曲は8分の6拍子で演奏されています。指揮を覚えて体で表現してみましょう。 (C)曲の流れにあわせてやってみよう。	徹底指導 (ポイント) ・指揮の例を視覚的に分かりやすく提示する。 ・楽曲に合わせて大きく両手で指揮をさせたり、体を揺らして表現させたりする。	模範指揮の動画 メトロノームソフト
	4 主旋律と副次的旋律をリコーダーで演奏する。 (T)拍の流れに乗り、旋律のまとまりを感じ取って演奏しましょう。 (T)友達の演奏を聞いてお互いに感想を交流しましょう。 (C)星空が光っているような感じがします。 (C)同じ拍で演奏できているので、チカチカと星がまたたく感じに似ています。 【言語活動】(設定の意図) 友達の演奏の良さを「ーな感じ」ということばでまとめさせて、曲想を適切な言葉で表現させる。	・リコーダーと伴奏の掛け合いを意識して演奏させる。 能動型学習 (ポイント) ・互いの演奏を聴き合う事で、主体的に自己評価できるようにする。 ◆音楽への関心・意欲・態度(観察・聴取) B基準 リコーダーと伴奏の掛け合いや重なりを聴きながら、主体的に演奏しようとしている。 A基準 楽曲の気分を感じ取り、リコーダーと伴奏の掛け合いや重なりを聴きながら、主体的に演奏しようとしている。 〈B基準に達していない児童への手立て〉 ○教師が実際にやって見せて個別に支援する。	IC レコーダー
終末 5分	5 本時の学習を振り返る。 (T)次の時間はリコーダー合奏「星笛」の発表会をします。 (C)星空のイメージに合う演奏にしたいな。	・導入で用いた星空の画像と範奏を再度提示し、次時の表現活動への意欲付けとする。	電子黒板